

愛知県経済の現状と見通し<2013年11月>

1. 総括判断

景気の現状	景気は回復に向けた動き	基調判断の 前月との 比較(注1)	→	水準 評価 (注2)	☀️   ☁️
当面の見通し	回復に向けた動きが持続する見通し		→		☀️   ☁️

2. 個別項目の動向

	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	↗️	水準評価	☀️   ☁️
個人消費	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、9月の名古屋市百貨店販売額は前年比+4.3%の増加。2か月連続の増加となったものの、伸び幅は前月に比べて縮小。</li> <li>○品目別にみると、貴金属、宝石、腕時計などの高級品を含むその他商品(前年比+3.1%)の伸びがやや一服。主力の衣料品(同+4.9%)は2か月連続の増加。</li> <li>○一方、10月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、28,905台・前年比+21.0%と2か月連続の前年比プラス。</li> <li>○車種別にみると、普通車(前年比+31.0%)、軽乗用車(同+26.3%)、小型車(同+9.2%)ともに前年比プラス。とりわけ、普通車と軽乗用車は二桁を超える大幅な伸び。</li> </ul> <p>《見通し》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○11月入り以降、急速に冷え込みが強まったことを受けて、衣料品を中心に冬物の動きが出ている状況。また、百貨店では高級腕時計、貴金属、宝飾品、海外ブランド品など高額商品の売れ行きが引き続き好調に推移。一部店舗では、高額品売り場の充実に関心を注ぐなど、こうした需要の取り込みを図る動きも。</li> <li>○乗用車については、エコカーなど新型車投入効果に加え、消費税率引き上げ前の需要が今後本格化することから、販売は堅調に推移する見通し。</li> </ul>	<p>図表1 名古屋市・百貨店販売額&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売」</p> <p>◆9月 名古屋市・百貨店販売額 301億円 前年比+4.3%(2か月連続の増加) ・うち衣料品 前年比+4.9%(2か月連続の増加)</p>		
	<p>図表2 新車乗用車販売台数&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」</p> <p>◆10月 新車乗用車販売台数&lt;含む軽&gt; 28,905台 前年比+21.0%(2か月連続の増加)</p>			

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↗️：上方修正、→：据え置き、↘️：下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️：晴、☀️☁️：晴～曇、☁️：曇、☁️☔️：曇～雨、☔️：雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話：059-354-7102

雇 用 情 勢	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️   ☁️
	<p>◀️<b>現状</b>▶️</p> <p>○9月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.38倍と7か月連続の上昇。新規求人倍率(同)も2.13倍と2か月ぶりに上昇。</p> <p>○引き続き愛知県の有効・新規求人倍率はともに全国レベルでみても高い水準で推移している状況。</p> <p>◀️<b>見通し</b>▶️</p> <p>○生産活動が徐々に回復に向かうなかで、製造業における求人も回復が期待される状況。</p>			

**図表3 有効・新規求人倍率<季節調整値>**

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」

**◆9月 求人倍率<季節調整値>**

- 有効求人倍率: 1.38倍  
前月差+0.02ポイント(7か月連続の上昇)
- 新規求人倍率: 2.13倍  
前月差+0.12ポイント(2か月ぶりの上昇)

企 業 活 動	基調判断	一部に回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁️
	<p>◀️<b>現状</b>▶️</p> <p>○8月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比▲0.8%と2か月ぶりのマイナス。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同▲3.9%)の減少幅が拡大したことが主因。</p> <p>◀️<b>見通し</b>▶️</p> <p>○愛知県の鉱工業生産に影響力の大きいトヨタ自動車の国内生産動向をみると、9月は4か月ぶりに前年比プラスとなっていることから、生産動向は引き続き回復傾向。</p>			

**図表4 鉱工業生産<前年比>**

(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」

**◆8月 鉱工業生産**

- 前年比▲0.8%(2か月ぶりの低下)
- うち輸送機械 前年比▲3.9%(3か月連続の低下)

輸 出	基調判断	回復色が鮮明に		
	基調判断の前月との比較	↗️	水準評価	☀️   ☁️
	<p>◀️<b>現状</b>▶️</p> <p>○9月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+15.8%と9か月連続の増加。二桁の伸びは6か月連続。</p> <p>○仕向地別にみると、米国向け(前年比+17.9%)、中国向け(同+17.2%)、西欧向け(同+16.2%)で二桁の伸び。</p> <p>◀️<b>見通し</b>▶️</p> <p>○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(9月:前年比▲7.0%)が2か月ぶりのマイナス。欧州向け、アジア向けが前年比プラスとなったものの、北米向けが前年比マイナスとなったことが主因。もっとも、底堅い基調は変わらず。</p>			

**図表5 名古屋港通関輸出額<前年比>**

(資料)名古屋税関「管内貿易概況」

**◆9月 名古屋港通関輸出額**

9,344億円 前年比+15.8%(9か月連続の増加)